

杉山榮 （しぎやま 栄） 社會學者、新聞人。明治二十五年二月七日岡山縣久米郡久米南町生れ、昭和四十二年五月六日没（一八九二—一九六六）。筆名志部榮、志部萃果、志部夢歌、志部夢花、牧野圭一、草野冬一。早稻田大學中退。大正八年神戸又新日報社入社、翌年山陽新報社に轉じ編輯局長、取締役。のち合併により合同新聞社と改稱、昭和十四年副社長兼主幹となる。この間大正十一年よりドイツ留學、ベルリン大學で經濟學專攻。昭和二十七年日本大學教授。

著書に『社會學の研究』（大正十一年十月五日春秋社）、『社會學十講』（大正十四年八月五日新潮社「思想・文藝講話叢書」）、『社會學概論』（昭和二年七月二十日富士書房）、『社會科學十講』（昭和五年）二月十二日新潮社「思想・文藝講話叢書」）、『現代デヤーナリズムの理論と動向』（他十）名久著、昭和六年十一月十五日内外社）、『先驅者岸田吟香』（昭和二十七年四月五日岡山・岸田吟香顕彰実行會）等。

